

<水田モデル試験用ポット>

クミカFRPポット

内寸：50×50×50 cm

(外寸：60×60×69 cm)

重量：約12 kg/基

- ◎クミカFRPポットは、モデル試験用として、従来の土中埋設型コンクリート製ポットに変わる後継資材です。
- ◎研究所周辺の試験圃場面積削減に対応でき、季節を問わずに様々な変動要因試験ができるため、生物効果の評価に適しています。
- ◎コンクリートポットと同寸法で、水温の上昇を防ぐためにFRP内部を中空にして断熱効果を持たせると共に、軽量なため屋内、屋外での可動が可能です。



写真左;FRPポット内部



写真右;従来のコンクリートポット

参考) FRP は Fiber Reinforced Plastics の略で、Fiber=繊維、Reinforced=強化された、プラスチック(Plastics)のこと。

販売元⇒クミアイ化学工業(株) 〒東京都台東区池之端1-4-26

電話 03-3822-5186

FAX 03-3828-8273

クミカFRPポット

<コンクリートポット比較での利点>

- ① 可動式で軽量で取扱い易く、洗浄が容易
- ② 排水口2ヶ所で漏水、落水の変動要因試験が簡単

写真にあるパイプは、水位を調節する役目を果たし、排水口にL字パイプを繋ぎ、斜めに傾けることで排水量(減水深)を調整(例えば、水深2cm分/日)することが可能です。

- ③ コンクリートのアルカリ成分が影響しない



受注生産 : 20基で約1ヶ月の納入期間となります。